



# 第6学年部会

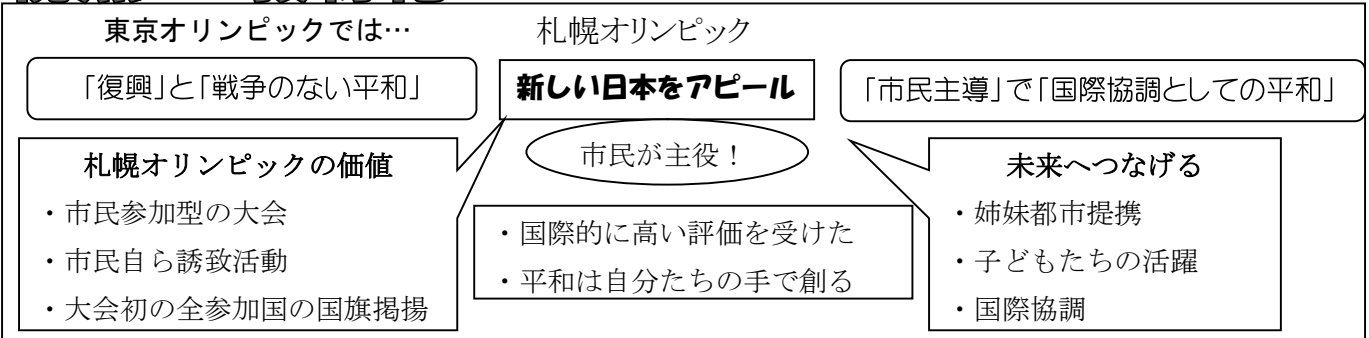


社連

## 各視点の検討を行いました

部報 NO.4

### 視点1 教材化



### 視点2 単元の問題解決

○3枚の写真を比較する活動を通して、単元の学習問題をつくる

〈戦争終了後の焼野原〉 ↔ 〈東京オリンピックの頃〉 ↔ 〈現在〉 → 『日本はどのように焼け野原から復興し、発展していったのだろう』

○単元の学びを「新しい日本の国づくり」「世界の中の平和な日本」という2つの視点で学習を展開する

1 〈東京オリンピックまでの復興の過程〉 →日本の様々な制度改革、国民生活の向上	2 〈札幌オリンピックの頃の日本のさらなる発展の過程〉 →世界の平和と未来に目を向けさらなる国際協調を目指す
---	---

○これからの日本はどのような国を目指していけばよいのか考える  
単元のまとめでは、未来を切り開き、自ら参画していくために何ができるか考える姿を目指す。

### 視点2 本時の問題解決

○単元名「新しい日本、平和な日本に対する見方や考え方の変容」  
平和とは、ただ戦争をしないだけではなく、世界の国々が手を取り合い、さらに絆を深めていくことだと、「平和」に対する見方や考え方の変容をねらう。

○東京、札幌、両オリンピックの最終聖火ランナーの比較から問題を生む

東京〈国を象徴する人〉 ↔ 札幌〈札幌在住の一般的な高校生〉 → なぜ高田さんは選ばれた？

○国主導の東京オリンピックと市民が主役の札幌オリンピックの違いを明らかにする  
市民の思いや子どもが活躍した意味を理解していくことで、市民が創り、未来へつなぐ大会であるという札幌オリンピックの価値を明らかにしていく。

○開会式での全参加国国旗掲揚の事例を取り上げ、思考を広げる  
東京オリンピックとは違い、札幌オリンピックでは開会式で、国交がなかった国や地域の国旗も掲揚した。  
→世界へ平和の在り方を発信。国際社会にも貢献したオリンピックだったと捉えることができる。

次回は 8月20日(土) 13:00~  
・資生館小学校 夏の学習会  
5年部会との合同部会です。  
45分間ずつ時間があります。

#### 2学期の部会は…

- ・各視点のプレゼンテーション検討
- ・本時の細案検討

文責：竹内（あいの里西小）